

令和4年度
(2022年度)
事業報告及び決算書

エコライフめぐろ推進協会

目 次

令和4年度（2022年度） 事業報告

1	令和4年度（2022年度）を終えて	1
2	令和4年度（2022回年度）における主な取組み	2
3	協会の組織運営等	6
4	各事業報告	
(1)	自主事業報告	10
(2)	目黒区エコプラザ指定管理事業報告	23

令和4年度（2022年度） 決算

	令和4年度（2022年度）決算書	40
--	------------------	----

令和4年度（2022年度）
事業報告

1 令和4年度（2022年度）を終えて

令和4年度（2022年度）は、新型コロナウイルス感染症流行の波が何度かありました。

基本的感染対策には万全を尽くし、事業運営に努めました。令和4年度は「めぐろスマートライフ」などウェブサイトによる情報発信に注力するとともに、「環境講演会」や「エコまつり・めぐろ2022」など区民等に参加いただいた事業も実施することができました。一方で、環境保全団体への助成などには応募団体がありませんでした。区民等の環境保全活動はコロナ禍以前のようにできていないようです。

協会ホームページやめぐろスマートライフは、ウェブサイトの特性を活かした運用に努めるとともに、外部のウェブサイトとリンクするなど幅広い情報発信に引き続き取り組みました。

令和3年4月から常設した「フードドライブ」の窓口は、区民等に認知されてきており、寄付された方、受け入れ食品の数などは増えています。フードドライブへ寄付された方一人当たりで見ますと、持ち込み点数、重量ともに令和3年度を下回っていることから、広く区民等にこの取り組みが知られ、食品ロス問題に関心を持たれてきていると感じています。

新型コロナウイルス感染症は収束には至っていない状況ではありましたが、目黒区エコプラザ指定管理事業についても資源・エネルギー有効利用、環境負荷の低減に関する講座開催、区民等の活動支援及び情報提供などに取り組んで参りました。目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会からの要望や指摘、利用者等の声を踏まえ改善に取り組むとともに、施設の適正かつ効率的な管理運営に努めました。リサイクルショップでは、緊急事態宣言等の発令に伴う休止期間はなかったものの空調工事による休止が約1月間ありました。ショップ収益は、その影響のほか人の出控えなどもあり、コロナ禍前の水準には戻っていません。令和5年度には、原則行動制限等がなくなることから、様々な催しなどにより収益増を目指して参りたいと考えています。

令和4年度は、徐々にではありますが日常が戻って参りました。まだまだ新型コロナウイルス感染症の完全収束は見通せない状況ではありますが、令和5年度は従前のような事業運営ができるよう、職員共々創意工夫に心がけて事業に取り組んで参ります。

2 令和4年度（2022年度）における主な取組み

令和4年度（2022年度）エコライフめぐろ推進協会の主な取り組みは、以下のとおりです。

（1）自主事業

ア 環境講演会

区民に環境問題への関心を高めてもらうことを目的に例年開催しています。令和4年度は「みんなで取り組むごみのこと」をテーマに行いました。第1部は目黒区清掃事務所職員に「目黒区の資源とごみのゆくえ」と題して、家庭でのごみや資源の分別、回収後の処理、最終処分場の寿命について、家庭でのごみの減量、分別の大切さについて講演いただきました。

第2部は「ごみ収集という仕事」と題して、大東文化大学准教授の藤井誠一郎氏に講演いただきました。藤井氏は、清掃行政、地方自治を研究しており、フィールドワークとしてごみ収集を体験しています。ごみ収集は税金で行われていることを意識し、住民も清掃事業全体に関心を持ち、積極的に参加することが必要であると講演いただきました。

アンケートには、ごみのことや清掃事業に対して関心を持ったなどが寄せられました。

この様子は録画しYouTubeで配信しました。

イ めぐるスマートライフ

「めぐろスマートライフ」では省エネルギーや資源の有効利用など、環境にやさしい行動を、賢く、楽しみながら実践していくライフスタイルを誰でも・楽しく・簡単にできる情報をウェブサイトから発信しています。

令和4年度は、56本の新しい記事を配信しました。区民等のライター（ecoライフライター）にも区民目線からの身近でエコな記事が寄稿されています。

アクセス解析によると20代から40代の閲覧が最も多くなっています。若い世代の環境への意識の高まりとともに、この世代が興味を持てる記事を意識的に取り入れたことや「フェイスブック」や「クックパッド」、更に環境省や東京都環境局が運営するサイトへ情報掲載したことなどが効果的であったと推察しています。

ウ フードドライブ

我が国の1年間の食品ロスは約522万トン（令和2年度農水省推計値）を超え、このうち家庭からのものは約247万トンといわれています。協会では、環境面から家庭系の食品ロスに着目して活動しています。令和3年度から窓口を事務局に常設し食品の受付、食品ロス削減の啓発等を行っています。常設窓口も開設2年目を迎えました。令和4年度は、9,531点、2,067kgもの食品の寄付を受けました。これは令和3年度と比べると、寄付品数で約1.71倍、重量で約1.38倍です。持ち寄っていただいた方の人数は、438人で、これは令和3年度に比べ1.96倍であることから、食品ロスに対する区民等の意識は広まっているものと推察しています。寄付いただいた食品は、区内の福祉施設などへ配布いたしました。

今後もフードドライブの取り組みを通して、食品ロス削減の啓発等を行って参ります。

エ エコまつり・めぐろ2022

エコまつり・めぐろ2022は3年ぶりに開催しました。開催にあたっては、基本的な感染対策、開催時間の短縮など新型コロナウイルス感染症対策を徹底しました。各出展ブースにSDGs（持続可能な開発目標）の17目標のアイコンを掲げ、来場者クイズラリーをとおして私たちの暮らしや環境問題に関わる「SDGs」について学んでいただきました。

例年は、高齢者の参加が多い傾向でしたが、今回は若い家族連れの方が多く見られました。3時間の開催時間であったが、最後まで来場者が途切れることなく賑わっていました。

(2) 目黒区エコプラザ指定管理事業

ア エコプラザ講座、出前講座等の開催

(ア) 自然エネルギーを体験しよう

「エコまつり・めぐろ2022」へ出展し、自然エネルギー（再生可能エネルギー）の啓発としてソーラーカーの試乗や手回し発電で動くNゲージの体験を行いました。ソーラークッカーのデモンストレーションなどをとおして、自然エネルギーの力を体感していただきました。

(イ) 親子ふれあい自然体験 in めぐろ

中目黒公園及び目黒川で実施しました。中目黒公園では、花と緑の学習館職員の指導のもと草花を採取。目黒区エコプラザへ移動中に目黒川の生き物観察などを行いました。目黒区エコプラザでは、中目黒公園で採取し

た草花で「ステンシル」や「こすり染め」でエコバッグ作りを体験しました。

(ウ) 小学校・児童館等への出前講座

目黒区の3R（リデュース・リユース・リサイクル）を小学校児童が深く理解し、実践を促すための手引き冊子「eco エコ大作戦」（協会作製）の内容に沿った出前講座です。令和4年度は、希望のあった小学校には出前講座及びeco エコ大作戦の配布を行いました。新型コロナウイルスの影響で出前講座は下目黒小のみでしたが、自主事業で行った不動小へのオンライン授業や田道小のエコプラザ見学などに応えました。冊子「eco エコ大作戦」は8小学校から配布希望がありました。

また、依頼のあった児童館等では子育てをする中で楽しくエコライフが送れるよう、そのきっかけづくりのための講座を実施しました。

イ 情報室の運営、情報室での普及啓発

(ア) サロン・エコライフ

来館者が気軽に参加できるエコ講座やワークショップを行いました。

「さき織り体験」「紙パックde紙すき体験」のほかDIY子ども工作教室「家族でDIY入門 ビー玉転がしを作ってみよう！」を実施しました。

(イ) 展示（図書コーナー及び階段下展示コーナー）

環境や3Rに関する情報提供、エコプラザ事業の展示を行いました。月ごとにテーマを設定した展示を企画しました。特に、7月、8月は夏休みの自由研究のヒントに図書等の紹介をしました。

ウ リサイクルショップの運営

リサイクルショップは、新型コロナウイルス感染症対策をしながら運営しました。今年4年度は、空調工事のため10月24日から11月19日まで休止しました。引き続き、令和4年度も物品の受け入れは予約制とし、受け入れ品も30点以内としました。令和4年度のショップの販売額は、令和2年度を約12.5%、令和3年度を約34%上回りましたが、新型コロナウイルス流行以前の令和元年度とは約26%減でした。

リサイクルショップは、リユース、リデュースを啓発していくことを目的としています。従って、必ずしも収益を高めていくことが目的ではありません。ショップ収益は、環境保全団体支援など協会の様々な事業に全て活用しており、重要な財源です。利用者が利用し易く、親しみの持てるショップとなるよう改善に取り組むとともに、リサイクルショップの事業主旨を踏まえ、協会事業の貴重な財源として有効活用して参ります。

エ 環境推進員養成講座の開催

環境推進員養成講座は、地域で環境への負荷の軽減に関する活動を行う人材を育成することを目的にした事業です。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のもと、3年ぶりに開講しました。講座開始に先立ち、企画運営委員会を立ち上げ、講座の方向性や内容などについて検討しました。

今期（13期）は7名の方が修了し、修了証を交付しました。

この講座修了者はエコサポーター登録後に環境保全活動をすることにより環境推進員に登録できます。コロナ禍により環境保全活動が十分にできない状況が続いていることから、コロナ禍前の令和元年度に修了した第12期修了生については、対象となる活動期間や申請期限を令和5年度までの活動等を対象とすることとしています。

(3) 経営基盤の充実

令和4年度（2022年度）は、新型コロナウイルス感染症対策のノウハウの蓄積などもあり多くの事業を実施することができました。また、協会ホームページやスマートライフを活用した情報発信や動画の配信、外部のウェブサイトとのリンクなど情報発信の多様化に努めました。

ウェブサイトからの協会紹介の動画配信や会員制度の説明などPRに努めました。賛助会員は前年度に比べ個人会員及び団体会員がそれぞれ3名、1団体の減、協力会員は個人会員が4名増となりましたが、団体、法人会員はそれぞれ1の減でした。会員は協会の強力なサポーターです。協会活動に広く賛同いただけるよう、引き続き会員増に取り組んで参ります。

3 協会の組織運営等

(1) 理事会及び運営協議会の開催状況

理事会及び運営協議会の開催状況は以下のとおりです。

理事会においては、議案及び協議事項についてはすべて可決されました。

また、運営協議会においては、諮問事項についてはすべて承認され理事会に答申されました。

なお、令和4年度第3回理事会及び第2回運営協議会の開催は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会議を見合わせることにし、会則第21条第4項及び第25条により、Web会議及び書面による表決としました。

ア 理事会の開催状況

回	開催日	議 題
1	6月7日(火)	議案第1号 運営協議会委員の選任について <協議事項> ・令和3年度事業報告及び決算書(案)の運営協議会への諮問について
2	6月21日(火)	議案第2号 令和3年度事業報告及び決算書(案)について
3	8月1日(月) (Web会議及び 協会会議室)	<報告事項> ・エコライフめぐろ推進協会に対する法人税等の修正申告について
4	3月14日(火)	議案第3号 運営協議会委員の選任について <協議事項> ・令和5年度事業計画及び収支予算(案)の運営協議会への諮問について <報告事項> ・目黒区エコプラザ指定管理者の令和3年度運営評価結果について ・「エコまつり・めぐろ2022」の実施結果について
5	3月28日(火)	議案第4号 令和5年度事業計画及び収支予算(案)について

イ 運営協議会の開催状況

回	開催日	議 題
1	6月14日(火)	諮問第1号 令和3年度事業報告及び決算書(案)について
2	8月3日(水) (Web会議及び 協会会議室)	<報告事項> ・エコライフめぐろ推進協会に対する法人税等の修正申告について
3	3月24日(金)	議案第1号 理事の選任について 議案第2号 監事の選任について <協議事項> 諮問第2号 令和5年度事業計画及び収支予算(案)について <報告事項> ・目黒区エコプラザ指定管理者の令和3年度運営評価結果について ・運営協議会員の選任について ・「エコまつり・めぐろ2022」の実施結果について

(2) 協力会員・賛助会員数(令和5年3月31日現在)

種 別	会 員 数			口 数			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
賛助会員	個人	32	35	△3	39	44	△5
	団体	10	11	△1	15	17	△2
	法人	19	19	0	39	39	0
協力会員	個人	102	98	4			
	団体	18	19	△1			
	法人	7	8	△1			

(3) 役員及び運営協議会委員名簿

ア 理事名簿

令和5年3月31日現在

役職	氏名	選出団体
理事長	相馬 熊郎	東京商工会議所目黒支部
副理事長	竹内 良信	目黒区産業連合会
常務理事	幡野 豊	エコライフめぐろ推進協会
理事	有田 俱通	学識経験者（環境カウンセラー）
理事	村杉 幸子	学識経験者（環境教育アドバイザー）
理事	望月 昇	NPO法人 目黒ユネスコ協会
理事	原 清隆	目黒区商店街連合会
理事	自見 信也	目黒区住区住民会議連絡協議会

任期：令和5年3月31日まで

理事総数8名

イ 監事名簿

令和5年3月31日現在

氏名	選出団体
中川 達彦	東京税理士会目黒支部
大野 容一（会計管理者）	目黒区

任期：令和5年3月31日まで

ウ 運営協議会委員名簿

令和5年3月31日現在

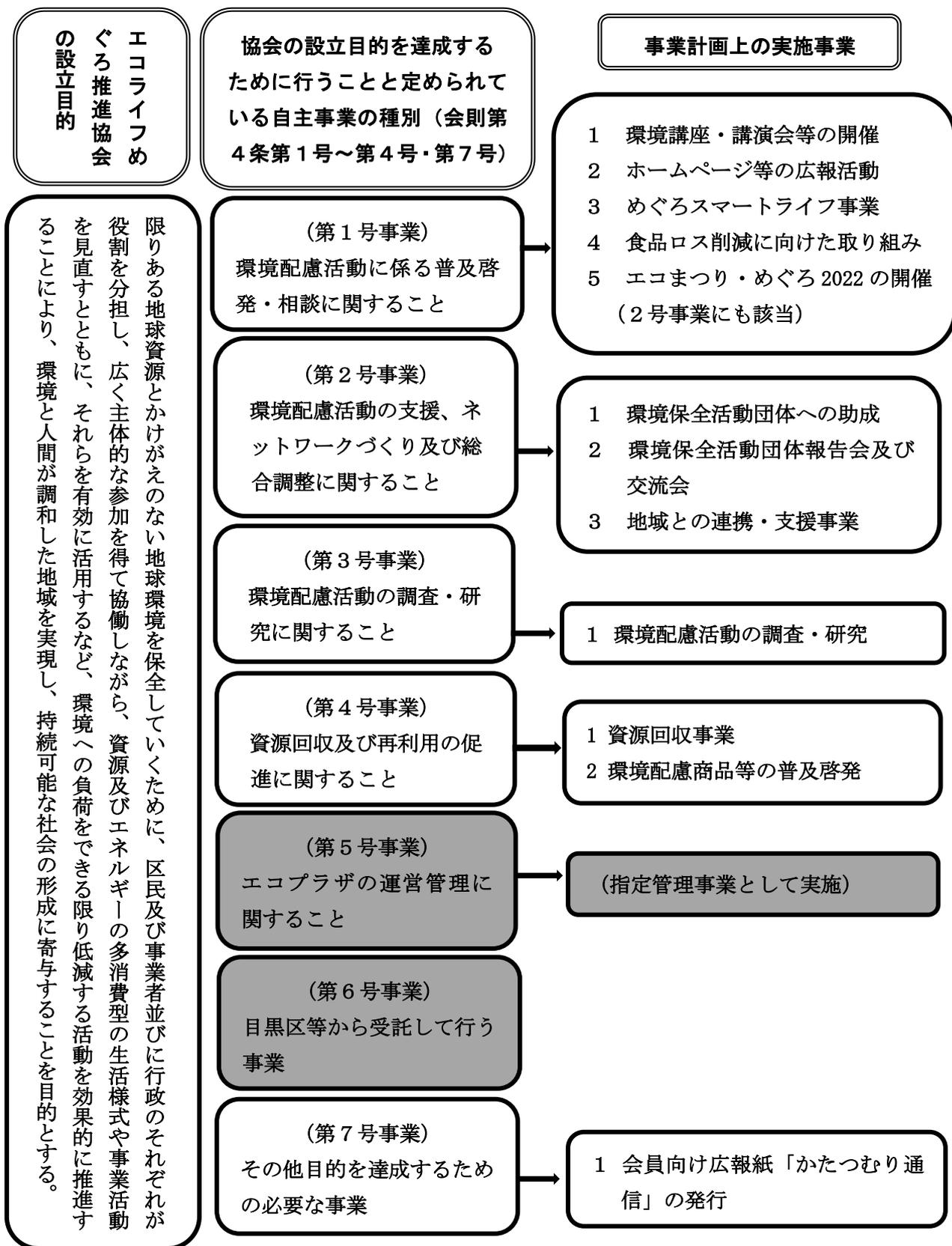
選出区分	氏名	推薦団体等
区議会議員	小林 かなこ	目黒区議会
区議会議員	いいじま 和代	目黒区議会
区議会議員	斉藤 優子	目黒区議会
区議会議員	かいでん 和弘	目黒区議会
学識経験者	神田 学	学識経験者（東京工業大学教授）
区教育委員会	藤井 良江	目黒区立小学校長会（田道小）
区教育委員会	鴻野 祐子	目黒区立中学校長会（第九中）
環境活動実践団体	松本 猛	目黒区町会連合会
環境活動実践団体	佐熊 とよ子	目黒清掃協力会
環境活動実践団体	井上 加寿子	目黒区消費者グループ連絡会
事業者団体	堀内 早紀子	(公社)東京青年会議所目黒区委員会
事業者団体	大月 良太	日本チェーンストア協会関東支部
事業者団体	小澤 孝行	目黒建設業防災連合会
事業者団体	竹澤 祥行	東京建築士会目黒支部
公益事業者団体	田中 孝	東京ガスネットワーク(株) 東京中支店
公益事業者団体	南 輝行	東京電力パワーグリッド(株) 品川支社
公募委員	岡 聖記	協会会員・エコサポーター公募
公募委員	雑賀 成元	協会会員・エコサポーター公募

任期：令和5年3月31日まで

自主事業報告

※ 網掛け部分は受託事業で自主事業ではない

令和4年度（2022年度）自主事業計画体系図



令和4年度 自主事業報告

1 会則第4条第1号事業：環境配慮活動に係る普及啓発・相談に関すること

(1) 講座・環境講演会等の開催

事業名	環境講演会「みんなで取り組むごみのこと」	主な経費
実施日	令和4年11月12日(土)13:30~16:00	印刷費製本費
会場	中目黒GTプラザホール	3千円
参加者数	32人	諸謝金
概要	<p>目黒区民に環境問題への関心を高めてもらうことを目的に毎年度開催している。令和4年度は区民にとって身近なごみをテーマに、十分なコロナ対策のもと聴衆参加により実施した。第1部は目黒区清掃事務所職員に「目黒区の資源とごみのゆくえ」、第2部は大東文化大学准教授の藤井誠一郎氏に「ごみ収集という仕事」を講演いただいた。講演会の模様は録画しYouTubeで配信した。</p> <p>○第1部「目黒区の資源とごみのゆくえ」 講師：目黒区清掃事務所職員</p> <p>家庭ではごみや資源はどう分別すればいいのか、回収後どう処理されるのかを実際にごみ収集業務を行う目黒区清掃事務所職員に解説いただいた。カセットボンベやライター、リチウムイオン電池などの混入により、区内で年間平均5回の清掃車の火災が起きていること、ごみの最終処分場の寿命が限られていることなどから、各家庭でごみを分別すること、減量することの意義も伝えられた。</p> <p>○第2部「ごみ収集という仕事」 講師：藤井誠一郎氏（大東文化大学准教授）</p> <p>藤井氏は、清掃行政、地方自治を研究し、ごみ収集業務をフィールドワークとして体験している。ごみ収集の原資は税金であることを住民も意識し、ごみは家庭から出して終わりではなく、その先の清掃事業にも関心を持ち、積極的に参加し</p>	50千円

	<p>続けることが必要であるとお話いただいた。</p> <p>参加者アンケートには、「自分にできることを見直すきっかけとなった」、「ごみに関しては地域を巻き込んでいく必要がある」などの感想が寄せられた。</p> 	
--	---	--

(2) ホームページ等の広報活動

<p>概 要</p>	<p>協会ならびに目黒区エコプラザからの情報発信や広報活動にホームページを活用した。トップページのデザインを変更し、閲覧性及び視認性の向上を図った。毎月トップページのスライダー画像を差し替え、ホームページのイメージの新規性を高めた。新型コロナウイルスの影響により事業活動が制約を受ける中、ウェブサイトからの情報発信が有効である。目黒区エコプラザの事業案内やイベント情報、定期的に発行するプラザニュースや会員向け「かたつむり通信」等の継続的な発信、募集やお知らせ等タイムリーな情報提供だけに止まらず、イベントや講座の開催報告、講演会の記録動画やフードドライブ事業についての説明動画を掲載してコンテンツの充実を図った。ホームページの閲覧者へ情報提供とともに、協会への興味を持ってもらうための広報活動へつなげた。</p>	<p>主な経費</p> <p>使用料及び 賃借料</p> <p>15 千円</p>
------------	---	---

(3) めぐるスマートライフ事業

事業名	めぐろスマートライフ（ホームページ）	主な経費
概 要	<p>省エネルギーを我慢や節約というイメージで捉えるのではなく、エネルギーを効率的に使い、賢くシンプルな生活を実践していく新しいライフスタイルを「めぐろスマートライフ」と名付けて、専用ホームページから情報発信を行っている。令和4年度は56本の記事をホームページから配信し、同時にFacebookにも公開した。</p> <p>「めぐろスマートライフ」では、区民のecoライフライターが取材や投稿等に活躍している。ecoライフライターに向けては、スキルや知識向上のためにecoライフライター研修及び交流会を開催した。第1回目は、プラスチック減量のためゴミを記録しSNSを活用し発信している高砂雅美氏を講師に招き、日々の活動についてお話を伺うとともに、新聞紙バッグ作りのワークショップを行った。第2回目は区内の生物多様性を知るため、みどり土木政策課職員・中目黒公園解説員の方を招きお話を伺った。研修・交流会には、延べ12名の参加があった。</p> <p>ウェブサイトのアクセス解析によると、モバイル機器での閲覧数が最も多く、年齢層も20～40代の閲覧者も最多である。これは当該世代の環境意識の高まりとともに興味を引くテーマの記事を意識的に取り入れたこと、Facebookや料理レシピのコミュニティウェブサイト「クックパッド」、目黒区子育て支援課が運営する「めぐろ子育てホッとナビ」、環境省「プラスチックスマート」、東京都環境局「チームもったいない」にめぐろスマートライフの情報を継続掲載したことなどが効果的だったのではないかと推察される。</p> <div data-bbox="475 1653 1136 1899" style="text-align: center;">  <p>めぐろスマートライフ Meguro Smart Life <small>エコロジーや省エネルギーを賢く楽しみながら実践できる情報を発信中です！</small></p> </div>	<p>委託費 99 千円</p> <p>諸謝金 48 千円</p> <p>費用弁償 18 千円</p> <p>使用料及び 賃借料 15 千円</p>

(4) 食品ロス削減に向けた取り組み

事業名	フードドライブ	主な経費
<p>概要</p>	<p>国内で食べられるのに廃棄される食品ロスは、1年間に約522万トンを超えていると言われていて、国内における食品ロス問題への関心も高まっている。このような背景もあり、「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年10月1日に施行された。</p> <p>協会では、イベント等で「フードドライブ」を実施するなど、平成26年から環境面から家庭系の食品ロスに着目し活動し、食品ロス削減についての情報提供や啓発活動を行ってきた。令和3年4月12日からは、「フードドライブ」の窓口を協会事務局へ常設し、食品ロス問題の啓発に取り組んでいる。常設にあたっては、受付できる寄付食品の詳細等をめぐろ区報、エコライフめぐろ推進協会HPや目黒区HPにおいて周知に努めた。また、窓口利用者には、家庭で無理なく少しの工夫で食品ロスが削減できる行動を伝える冊子（「家庭での食品ロス」消費者庁発行）を配布するとともに、窓口や総合庁舎西口などで食品ロス削減パネルを掲示し啓発を行った。寄付された食品は、目黒区内の母子生活支援施設や障害者の共同生活支援施設等に配布した。</p> <p>また、中央地区の「あぶらめん住区まつり」へ参加し、フードドライブを実施したほか、目黒区立不動小学校3年生の食品ロスオンライン授業でフードドライブを紹介した。</p>	<p>消耗品費 5千円</p> <p>通信運搬費 16千円</p>



令和4年度フードドライブ寄付数等		
寄付者	寄付品数	重量
438人	9,531点	2,067.26kg

令和4年度フードドライブ配布数等		
配布回数	配布食品数	重量
95回	9,750点	2,262.99kg

(5) エコまつり・めぐろ2022

事業名	エコまつり・めぐろ2022	主な経費	
実施日	12月11日(日) 10時～13時	委託費	
会場	田道ふれあい館・田道広場公園	715千円	
来場者数	約1,800人	印刷製本費	
概要	<p>エコまつりは、目黒区内の環境活動団体や事業者、行政、環境に関心を持つ人々が一堂に集い、来場者と交流しながら楽しく環境問題に触れることができる事業で、3年ぶりの開催となった。開催にあたっては開催時間の短縮など新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した。</p> <p>まつりでは、SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標に関するクイズラリーを行なった。クイズラリー「SDGsアイコンを探そう」は、各団体の出展内容に沿った「SDGs」(持続可能な開発目標)の17の目標のアイコンを各団体名の看板に掲示し、来場者は、まつりの中で一番多く掲示していたSDGsアイコン番号を答えるもの。来場者には、クイズをとおして私たちの暮らしや環境問題とも深く関わる「SDGs」について学んでもらった。田道広場公園のソーラーカー試乗等(自然エネルギー体験)やスケルトンパッカー車は、来場者に人気であった。また、区内の高校等の生徒がボランティア参加し、間隔を空けた来場者への整理誘導などを担ってもらった。</p> <p>例年は、高齢者の参加が多い傾向であったが、今回は若い家族連れの出場者が多く見られた。来場者アンケートによるとそれぞれが環境にやさしい取り組みや3Rなどについて楽しみながら勉強ができたことが分かった。3時間の開催であったが、最初から最後まで来場者が途切れることなく賑わっていた。</p>	9千円	
		会議費	6千円
		保険料	109千円
		消耗品費	19千円

	<p>【結果概要】</p> <p>1 テーマ 「わたしが我が家のエコレンジャー」</p> <p>2 来場者数：約1,800人</p> <p>3 出展団体等</p> <p>(1) 出展団体 : 23団体</p> <p>(2) 協力団体等：グループ・ちゃんねる</p> <p>(3) 学生ボランティア：都立目黒高等学校等 (4人)</p> <p>(4) 環境推進員等ボランティア：(5人)</p> <p>4 フードドライブ</p> <p>(1) 寄付人数：15人</p> <p>(2) 寄付物品：缶詰、レトルト食品、醤油・茶等 186点 (約38.7kg)</p> <p>(3) 寄贈先：区内児童福祉施設</p>	
		

2 会則第4条2号事業：環境配慮活動の支援、ネットワークづくり及び総合調整に関すること

(1) 環境配慮活動団体への助成

事業名	環境保全活動団体への助成	主な経費
概要	<p>「地域における環境保全活動に対する助成に関する要綱」に基づき、地域における環境保全活動の広がりや定着を図ることを目的とし、リサイクルショップの収益金を活用した助成制度である。</p> <p>コロナ禍により、令和4年度の応募はなかった。</p>	—

(2) 環境配慮活動団体報告会及び交流会

事業名	活動報告会&交流会	主な経費
実施日	令和5年2月4日(土) 13時30分~15時30分	—
会場	田道住区センター第2・第3会議室	
参加人数	6人	
概要	<p>環境保全活動団体が地域に根を広げ、活動を発展させていけるよう、各団体が1年間の活動報告をするとともに、団体間の情報交換を目的として行うものである。</p> <p>令和4年度は、既存団体の活動発表とecoライフライターからの話、参加者同士の自由交流を行った。</p> <p>「もめんむすび」の活動として、着物の生地から普段着る服に再生することや、古着からぞうきんを作成することなど、衣を楽しみながら再利用することがエコにも繋がるという話をしていただいた。「ecoライフライター」からは「しゃべることは一瞬で終わってしまうが、ecoライフライターとして書くことにより、推敲すると中身を濃くすることもできる」という話をしていただき、書くことは大変であるが、良いこともたくさんあることを伝えていただいた。</p> <p>自由交流時間では参加者6名に職員3名が加わり、自分の行っている活動状況や興味があること、これからやりたいこと、やっていかなければならないことなど、和やかな雰囲気の中で交流ができた。</p>	

(3) エコライフめぐろ推進協会紹介動画作成

事業名	フードドライブ紹介動画「フードドライブについて」	主な経費
概要	<p>エコライフめぐろ推進協会の認知度を高めることを目的に、協会の役割やこれまでの活動実績等を紹介する動画をYouTubeを介して配信し、区内外にエコライフめぐろ推進協会の事業を広く周知した。「フードドライブについて」は常設窓口のフードドライブで受入れできる食品の詳細とともに、食品の寄付に来庁された目黒区民の方への食品ロス削減についてのインタビュー等を紹介した。</p> <p>フードドライブとは？</p> <p>・家庭で消費しきれない食品を持ち寄り、必要とする団体等に寄付する活動のこと</p> 	—

(4) 地域との連携・支援事業

事業名	① 環境配慮商品等の普及啓発（地域イベント等）	主な経費
<p>概要</p>	<p>地域、商店街等との連携を深めるために、それぞれが主催するイベントに参加し、環境保全活動についての啓発を行うとともに再生用品、環境配慮商品等を販売している。令和4年度は、第51回目黒消費生活パネル展（10月17日～11月5日）に参加し、「今日からできるプラスチック減量アクション」について啓発した。</p> <p>プラスチック減量の取り組みを初級、中級、上級に分け、今取り組んでいる項目にシールを貼る参加型のパネル展示を実施。啓発物として「今日から実践！プラスチック減量」の冊子を作成して配布した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>商品仕入れ費 101千円 （目黒リサイクルショップ等の販売分含む。）</p>
<p>事業名</p>	<p>② 環境配慮商品等の普及啓発 （目黒リサイクルショップ等）</p>	<p>主な経費</p>
	<p>再生用品、環境配慮商品等の普及啓発として、目黒リサイクルショップを活用して展示、販売した。また、住区センターで使用する業務用のトイレットペーパーを販売した。実績は表のとおり。</p> <p>（売上数、売上額は令和5年3月末現在）</p>	<p>「①」の主な経費欄に記載のとおり。</p>

商品種類	販売 価格 (円)	売上 数 (個)	売上額 (円)
トイレットペーパー (牛乳パック類の再生パルプが主な原料。)	440	136	59,840
業務用トイレットペーパー (牛乳パック類の再生パルプが主な原料。)	385	80	30,800
業務用トイレットペーパー (牛乳パック類の再生パルプが主な原料。) ※令和4年11月から新価格	418	70	29,260
ティッシュペーパー (牛乳パック類の再生パルプが主な原料。簡 易包装。)	396	34	13,464
こまばみどり (駒場地域で活動している団体が作った生 ごみ堆肥)	110	211	23,210
よみがえり・よみがえる(軍手) (古着が主な原料。綿の紡績軍手に比べCO2 発生量が1/6。)	110	132	3,080
よみがえり・よみがえる(軍手) (古着が主な原料。綿の紡績軍手に比べCO2 発生量が1/6。) ※ロータリークラブ販売分	40.2	800	32,160
重曹 300g (環境に配慮した掃除用。)	110	69	7,590
クエン酸 100g (環境に配慮した掃除用。)	55	41	2,255
紙ひも	121	0	0
めぐろはんどめいどエコバッグ	550	3	1,650
みつろうラップ	330	21	6,930
合 計			210,239

事業名	③地域におけるエコ活動の支援	主な経費
概 要	<p>1 エコステーション用資材の貸し出し 区内の各地域が開催する催し等で環境意識の向上を目的にエコステーションを開設する場合に、必要な資材等を貸し出している。 新型コロナウイルス感染症抑制対応のため、各種イベントが中止となり令和4年度貸し出しは1件にとどまった。</p> <p>・中目黒村美化委員会：花見客からゴミの収集と、その分別の重要性の啓発を促す環境イベント</p> <p>2 リユース食器の貸し出し 区内の各地域が開催する催し等で飲食を提供する場合、環境意識の向上を目的にリユース食器の利用を希望する団体、施設等に貸し出している。 しかし、新型コロナウイルス感染症抑制対応のため、イベントが中止となり令和4年度の貸し出しの実績はない。</p>	

事業名	④ 協会事業の委託に係る受託団体募集（SDGs 環境事業）	主な経費
概 要	<p>令和4年度より区民に対しSDGs（目標12番・14番など）に関する区民の環境意識の高揚を図ることを目的として、その環境啓発事業の企画・運営を受託する区民の環境団体等を募ったが、多くの区民団体は、新型コロナウイルスの影響で活動を自粛していること等から応募はなかった。</p>	—

3 会則第4条3号事業：環境配慮活動の調査・研究に関すること

(1) 環境学習推進の調査・研究

事業名	SDGs に関する情報収集及び調査研究	主な経費
趣 旨	SDGs (持続可能な開発目標) について、国等の行政機関、関係団体の動きを注視するとともに、環境関連分野における区民に身近な内容について情報収集及び調査に取り組む。	負担金 10 千円
概 要	<p>政府は令和3年(2021年)12月にSDGs実施指針を改定し「SDGsアクションプラン2022～全ての人が生きがいを感じられる、新しい社会へ～」を策定した。</p> <p>この中で、2021年はコロナパンデミックがSDGsの達成をさらに脅かしている状況下、SDGsを「より良い未来に導くための重要な羅針盤」と位置づけ、2030年の目標達成に向けて「前例にとらわれない戦略」による取り組みの加速化を強調している。</p> <p>協会は国等の行政機関、関係団体の動向を注視しながら区内外で行われたSDGsに関連する講座やイベント等で職員が調査研究を行った。</p> <p>令和4年度作成した「わくわくエコライフ2023カレンダー」には、協会が実施した事業に関連するSDGsの目標を表示し見える化を図り、区民等に「めぐろからSDGs学ぼう！取り組もう♪」という啓発を行った。また、エコまつり・めぐろ2022内では「SDGsスタンプラリー」を実施し、各出展者看板に関連するSDGsアイコンを掲示、ブース内にはSDGsの17の目標アイコンを分かりやすい言葉やイラストで掲示することで、生活の中でSDGsを意識するきっかけになるような働きかけを行った。また、区民が環境により配慮した生活を送るためのアイデア等(物を修理してつかう・使い捨てをしない)を学ぶため、調査研究の一環として職員が日本の伝統的修理技法である「金継ぎ」の講座に参加した。</p>	

4 会則第4条第4号事業：資源回収及び再利用の促進に関すること

事業名	環境配慮商品等の普及啓発	主な経費
概 要	<p>18頁(4)地域との連携・支援事業</p> <p>①環境配慮商品等の普及啓発(地域イベント等)に掲載</p> <p>②環境配慮商品等の普及啓発(目黒リサイクルショップ等)に掲載</p>	

5 会則第4条7号事業：その他目的を達成するための必要な事業

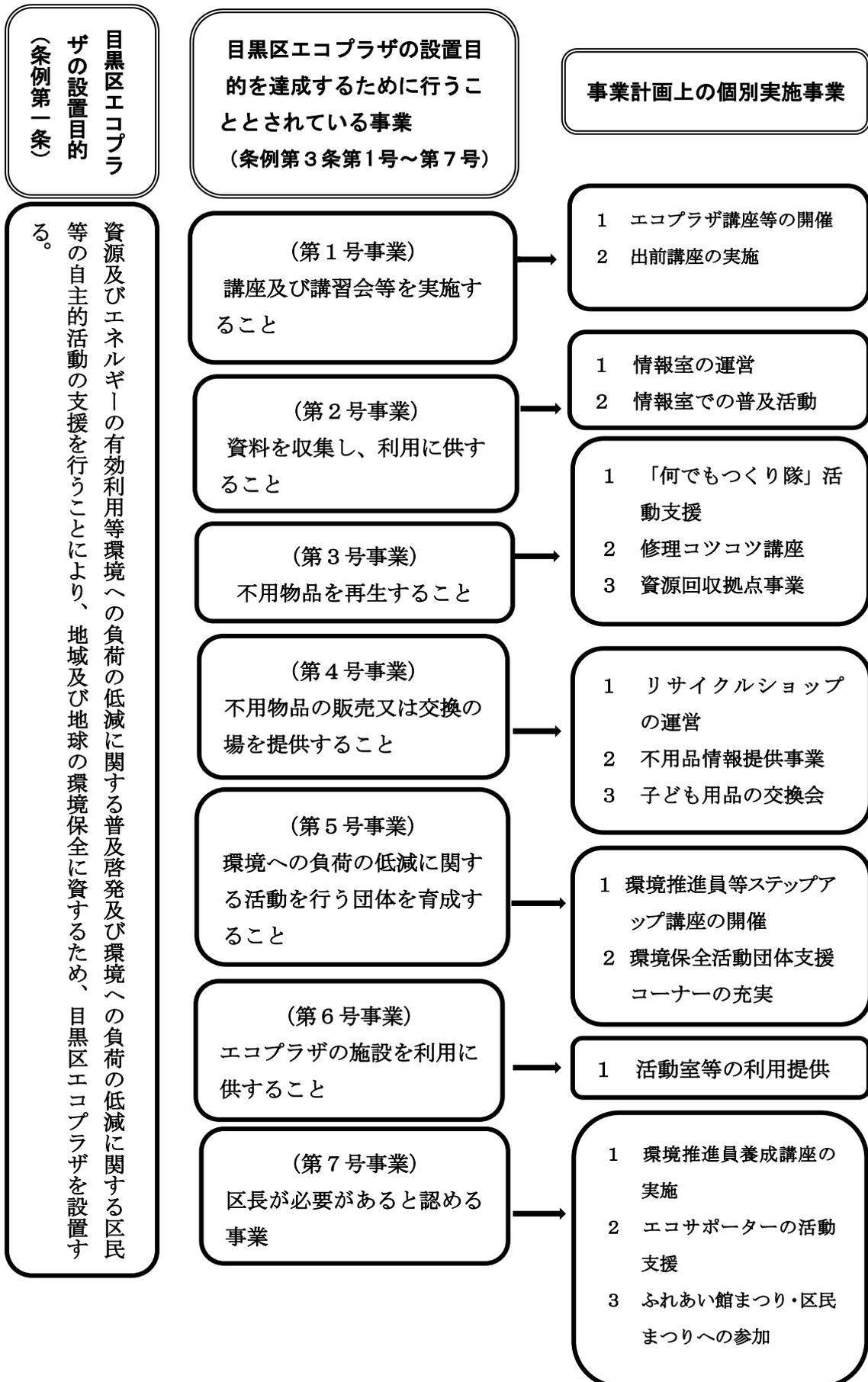
(1) 会員向け広報紙「かたつむり通信」の発行

事業名	広報紙「かたつむり通信」の発行	主な経費
対 象	協会の賛助・協力会員・理事・運営協議会委員	消耗品費
回 数	年4回 発行月：6月末（7月号）・9月末（10月号）・ 12月末（1月号）・3月末（4月号）	4千円 諸謝金 12千円
内 容	協会実施の事業予告(指定管理事業含む) 及び報告、協会事業へのボランティアの募集、会員寄稿によるコラム等を掲載。 令和4年度より、読み物コーナーを新設し、有識者に環境啓発になる内容の読み物を執筆いただいた。紙面も4ページに増幅し、内容の充実を図った。 また、令和4年度は3年ぶりに会員向けに「ボランティア講習会とみつろうラップ作りワークショップ」を開催した。	



目黒区エコプラザ
指定管理事業報告

令和4年度目黒区エコプラザ指定管理事業計画体系図



令和4年度(2022年度)目黒区エコプラザ指定管理者事業報告

1 条例第3条第1号事業：講座講習会等を実施すること

(1) エコプラザ講座等の開催

ア 「自然エネルギーを体感しよう」

実施日	12月11日(日) 10:00~13:00	主な経費及び 参加費
会場	「エコまつり・めぐろ2022」田道広場公園	
参加者数	約300人	委託費 100千円
講師等	NPO法人 ソフトエネルギープロジェクト	
概要	自然エネルギー(再生可能エネルギー)の啓発としてソーラーカーの試乗や手回し発電で動くNゲージの体験を行った。また、ソーラーカーのデモンストレーションも行い、自然エネルギーの力を体感して貰うことができた。「エコまつり・めぐろ2022」に出展した。	参加費 —

イ 親子ふれあい自然体験 in めぐろ

実施日	10月8日(土) 10:00~12:30	主な経費及び 参加費
会場	中目黒公園、目黒川の散策、目黒区エコプラザ活動室	
参加者数	おとな5人、子ども7人	通信運搬費等 2千円
講師等	花とみどりの学習館 伊藤氏、目黒区エコプラザ職員	
概要	親子で目黒区の公園や目黒川の生き物に触れ合うことで、様々な生き物が生息し、共生していることを感じてもらう。公園内で花とみどりの学習館の職員の指導のもと草花を採集した。目黒区エコプラザへの移動中に目黒川のことについて学び、川の生き物を観察した。目黒区エコプラザ活動室にて実施したエコバッグづくりでは採集してきた草花でこすり染めやステンシルで思い思いのエコバッグづくりを体験した。	参加費収入 2千円



ア 自然エネルギーを体感しようの様子



イ 親子ふれあい自然体験 in めぐろの様子

ウ DIY 子ども工作教室「家族でDIY 入門 ビー玉ころがしを作ってみよう！」

実施日	3月4日(土) 10:00~13:00	主な経費及び 参加費
会場	目黒区エコプラザ活動室	
参加者数	7組 15人	消耗品費 11千円 諸謝金 5千円 参加費収入 2千円
講師等	DIY アドバイザー 平田 良 氏	
概要	<p>工具を使用してもものを作ることや修繕することに親しむきっかけとなるよう、鋸や金づちの扱い方を学ぶ。子どもと保護者が協力してビー玉ころがしを制作するDIY 初心者向け講座を実施した。</p> <p>※サロン・エコライフのひとつとして実施した。</p>	

(2) 出前講座（学校・児童館等）の実施

ア 小学校への出前講座

概要	<p>ごみ・リサイクルについて授業で学ぶタイミングとなる4年生を対象に出前講座を行っている。令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の流行による感染対策のため、依頼が減少している。4年生対象の出前講座は下目黒小学校一校のみとなったが、田道小学校2年生の目黒区エコプラザ見学や自主事業として行った不動小学校3年生へのオンライン授業などの成果物をイベントや目黒区エコプラザ展示コーナーで掲示した。小学校と連携した啓発につながられた。また、協会がオリジナルに作成している冊子「めぐろ eco エコ大作戦」を配布の希望を募り、八雲小など8校からの希望に応えた。</p>	主な経費
		印刷製本費 248千円

(ア) 小学校4年生対象出前講座

実施月日	小学校名	参加人数
9月5日(月)	下目黒小学校	87人

(イ) 目黒区エコプラザの見学等

実施月日	小学校名	内容	参加人数
9月7日(水)	田道小学校2年生	見学	85人
9月14日(水)	田道小学校2年生	職場インタビュー	17人

(ウ) 「めぐろecoエコ大作戦」配布

小学校名	配布数	小学校名	配布数
八雲小学校4年	54	向原小学校4年	50
緑ヶ丘小学校4年	35	原町小学校4年	43
上目黒小学校4年	45	不動小学校3年	120
田道小学校2年	85	月光原小学校3年	62

イ 児童館への出前講座

概要	子育てをする中で楽しくエコライフが送れるよう、児童館等に出向き、きっかけづくりのための講座を実施した。エコプラザへの来館者の増加につながるよう、エコプラザPRも出前講座の中で行った。その際のアンケートでは、「目黒区エコプラザを知らなかった」という方が多数おり、エコプラザPRの有効な機会にもなった。また、夏休みの小学生対象の講座も行った。	主な経費
		—

参加者計100人

	実施日	施設名等	事業名等	対象	内容	参加人数
1	7月14日(木)	油面住区センター児童館	乳幼児のつどい	2・3歳児と保護者	バスボム作り	1組 2人
2	7月29日(金)	平町児童館	エコクラフト	小学生	バスボム作り	13人
3	9月30日(金)	平町児童館	乳幼児のつどい	乳幼児と保護者	エコ工作 「おさんぽワンチャン」	12組 24人
4	1月17日(火)	五本木住区センター児童館	乳幼児のつどい	0歳児と保護者	バスボム作り	9組 18人
5	2月22日(水)	上目黒住区センター児童館	乳幼児のつどい	0～3歳児と保護者	エコ工作 「かたかたカスタネット」	9組 19人
6	3月3日(金)	平町児童館	乳幼児クラブ	2・3歳児と保護者	資源とごみの分け分けゲーム	9組 18人
7	3月8日(水)	区民センター児童館	乳幼児のつどい	1～3歳児と保護者	エコ工作 「ケロケロがえる」	3組 6人



田道小学校2年生まち探検の様子



資源とごみの分け分けゲームの様子

ウ 学童保育クラブへの出前講座

概要	夏休み等長期休業の「学童保育クラブ」に向けての出前講座を行っていたが、新型コロナウイルス感染症対応のため実施を見合わせた。	主な経費
		—

エ イベントへの出前講座

概要	目黒区在住・在学の中高校生たちが、自分たちで企画から運営する「ティーンズ・フェスタ・イン・めぐろ」及び目黒区内で活動を行っている子育てグループが実行委員となって0歳から3歳児の親子を対象に活動の紹介・PRを行う「子育て交流ひろば0123」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小して実施するため、担当者より招集を見送る旨の申し出があった。	主な経費
		—

2 条例第3条第2号事業：資料を収集し、利用に供すること

(1) 情報室の運営

概要	情報室を利用される方の年齢層や季節に応じて、エコライフに関する情報のパネル展示、ミニ講座、ちらしの配布などを行い、情報室の利用の促進を図った。	主な経費
		印刷製本費 229 千円 消耗品費 166 千円

ア 情報室におけるエコライフに関する情報の提供

ごみの分別方法、重曹・クエン酸を使った環境にやさしい掃除方法、エコプラザのPRちらし等を配布すると共に、緑のカーテン普及のために、次のとおり種の配布等を行った。

事業名	実施期間等	内容
緑のカーテンを育てよう！ へちま de スポンジプロジェクト	4月14日(木)～ 5月31日(火)	へちまの種と苗、ふうせんかずらの種を配布。併せて、つる性植物を緑のカーテンとして育てる方法や、収穫できたへちまの実をスポンジに加工する方法について、情報提供を行った。
牛乳パックで生ごみ堆肥づくり	9月5日(月)～	牛乳パックを使って手軽に生ごみ堆肥を作る方法を紹介したちらしを配布した。秋から春にかけての園芸や野菜作りに取り組んでもらうことで、ごみを減らし、環境にやさしい栽培方法を心がけてもらえるようになることがねらい。

イ 展示コーナーの設置

パネルや実物を活用した展示コーナーを設け、環境や3Rに関する情報提供、エコプラザで行っている事業の展示を行った。(詳細は29頁情報室の普及啓発にあり)

ウ 図書の提供

環境に関する図書・雑誌を充実させると共に、展示テーマと連動させ、配架を工夫した。

実施月	テーマ	内 容
4月	海に流れ出るプラスチックを減らそう！	プラスチックが劣化し、マイクロプラスチックとなることが環境にどのような影響を与えるのか？マイクロプラスチックの流出をどうしたら抑制出来るのか？考えるきっかけとなる図書を紹介。
5月	環境活動の先駆者 レイチェル・カーソン	生物学者であり、環境活動の先駆者であるレイチェル・カーソンが5月27日生まれであることから、「沈黙の春」などレイチェル・カーソン関連図書を紹介。
6月 7月	着物やお洋服をリメイクして楽しもう♪	6月の環境月間に、情報室内でリメイク作品の展示を行ったのとあわせて、はぎれや着物を素材としたリメイクの関連図書を紹介。
8月 9月	生きる為に大切な水のこと 考えてみよう♪	猛暑に見舞われる時期に、水の大切さや水に関わる環境問題について考えてもらえるよう関連図書を紹介。
10月 11月	食料を選び調理し食べる ×環境のこと	情報室内で食品ロスの展示を行ったのとあわせて、「フードマイレージ」や「生ごみ堆肥」について学ぶことのできる図書や食品ロスを減らすアイデアとなるような図書を紹介。
12月	家族で作って楽しむ エコライフ♪	年末年始に、家族で楽しみながらエコ工作やエコクッキング、リメイク、修繕などに取り組むきっかけとなるような図書を紹介。
1月	お米の大切さを見直そう！	1月17日はおむすびの日（お米の大切さ、食生活を見直す日）ということから、稲作や米を調理すること、また備蓄食材の活用に関する図書を紹介。
2月	土のこと・たねのこと・作物 を育てること	土づくりや家庭菜園を始めるのに適した時期を迎えることから、土壌や生ごみ堆肥作り、種子、家庭栽培、そして農業に関する図書を紹介。
3月	みぢかな所で生きものを みつけよう！	情報室内でのテーマ展示「里山のくらしといきもの」とあわせて、自宅周辺や公園等でも見つけることのできる野生動物や野鳥、昆虫などについて図説した図書を紹介。

エ その他

事業名	内容
エコプラザだより	月1回発行の目黒区エコプラザの情報誌である。地区サービス事務所・住区センター・図書館・社会教育館等で掲示・配布を依頼。 (毎月ポスター約280枚・チラシ約800部発行)
わくわくエコライフカレンダー	リサイクルショップの収益金を活用し、エコライフめぐろ推進協会の事業紹介などを兼ねたカレンダーを作成。来館者等に配布。(発行部数:1200部)

(2) 情報室での普及啓発

概要	エコプラザを訪れた区民が気軽に学習し、成果を持ち帰れるよう、来場者層に合わせたミニ学習会(サロン・エコライフ)や展示を行った。	主な経費
		諸謝金 5千円

ア 展示(図書コーナー及び階段下展示コーナー)

実施月	テーマ	内 容
4月 5月	<ul style="list-style-type: none"> ・「きれいな海は街から」 ・どうして目黒川は汚いの？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今海で何が起きているか？海洋汚染の現状を知り、防ぐためには何が出来るかを考えてもらう ・目黒川はなぜ悪臭が発生するのか？その理由と悪臭を防ぐための対策を提案
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・資源回収のはじまり ・目黒区エコプラザの資源回収のポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源回収の先駆者であった目黒区の資源回収などについての歴史を年表で紹介 ・目黒区エコプラザで回収できる資源について回収のポイントを掲示 ・資源として回収された「衣類」「飲料用ペットボトルのキャップ」のその先を紹介
7月 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・自由研究のヒントを見つけよう！ ・夏休み自由研究応援企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間に合わせ、自由研究のヒントになるような図書の紹介 ・「紙パックのリサイクル」「打ち水大作戦 2022」「エコ工作レシピ配布」など、夏休みの自由研究のヒントの一例を紹介
9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsってなんだろう！ ・xChange参加者募集(10月1日まで) ・打ち水の木 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの17のアイコンについて簡単な説明を掲示するとともに、その関連図書を紹介 ・子ども服の交換会の代わりに実施したxChange(エピソードタグをつけて交換会を行う催し)の主旨説明と参加者の募集のための掲示 ・夏休みに打ち水を実施した方の写真を募集し、その写真をイラストの木の上に貼って成果を紹介
11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材でエコそうじ ・バスボム(入浴剤)をつくってみよう！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・重曹、クエン酸を利用した掃除方法の提案 ・バスボムの作り方を大きく掲示し、レシピも配付
1月 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物を救う ・食に関するエコライフの提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスを家庭内からどのような考えや工夫で無くせるかを掲示し、ローリングストック法やバーチャルウォーターなど食に関する情報を紹介
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・里山のくらしといきもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・かつて循環型生活が営まれていた里山という環境と、その環境で繋がりあいバランスを保っていた生きものについて紹介し、近年の環境の変化により生きものが絶滅あるいは絶滅の危機にあることについても掲示

イ サロン・エコライフ

講座名	実施日	内容	参加人数
「さき織り体験」	6月28日(火)	何でもつくり隊「古布 de さき織り」のPRとし、織り機を使ってコースターを作る体験を行った。	4人
「紙パック de 紙すき体験」	8月5日(金)	夏休みの自由研究の応援企画として、紙パックを使った紙すきでハガキを作る体験講座を行った。合わせて紙パックのリサイクルについて学び・考える場とした。	21人
家族でDIY入門 「ビー玉ころがし を作ってみよう！」	3月4日(土)	第1号事業「こども DIY 工作教室」をサロン・エコライフとして開催した。	7組 15人

ウ その他（図書コーナーの活用・窓口での普及啓発）

新着図書紹介、エコおもちゃ設置	4月1日(金) ～6月4日(土)	新しく入った図書を紹介した。 紙パック等で作成したエコおもちゃで遊ぶコーナーを設置した。
夏休み向け図書紹介	7月23日(土) ～8月31日(水)	夏休みの自由研究向けの図書をテーマごとに展示し、調べ学習のサポートを行った。
お家 de 打ち水	7月23日(土) ～8月23日(火)	お家で打ち水を実施し、その様子を写真に撮って持参した方に東京都環境局作成の打ち水日和の手ぬぐいをプレゼントした。集まった写真はイラストの木に貼り付け「打ち水の木」として掲示した。
田道小学校2年生 作品展	12月11日(日)・ 1月5日(木) ～3月7日(火)	田道小学校2年生17名が描いた「地球環境をまもるための標語とイラスト」をエコまつり・めぐろ 2022 と田道ふれあい館まつりに合わせて掲示した。
不動小学校3年 生作品展	3月15日(水) ～4月3日(月)	不動小学校3年生に対し、協会が実施した『食品ロス』のオンライン講習についてまとめた作品を目黒区エコプラザの展示コーナーで紹介した。

3 条例第3条3号事業：不用物品を再生すること

(1) 何でもつくり隊

事業名	何でもつくり隊	主な経費
概要	古着・古布・残り毛糸等を使った物づくりの講座を定期的にエコプラザ活動室で開催した。 各講座の運営に協力している活動団体や講座の参加者が、それぞれの地域などで活動を広められるよう、協会が支援する人材育成の場としての事業である。	—

ア 定例開催

参加者計 708 人

講座名	実施日	内容	参加人数
毛糸 de ボランティア	毎月第 1 火曜日 13:30～15:30	残り毛糸を活用してひざ掛け等を作り、福祉施設等に寄付している。 寄贈先:かみよん工房クッション3枚・ひざ掛け3枚 東が丘障害福祉施設クッション5枚・のぞみ寮クッション9枚・グループホームひかり目黒クッション 23 枚・ひざ掛け 17 枚	87 人
古布 de 小物作り	毎月第 2 火曜日 13:30～15:30	古布を活用して小物を作る。 協力団体:布で遊ぼう	142 人
古布でさき織り	毎月第 3 火曜日 13:00～15:30	古布を裂いて、織り機を使って作品を作る。 協力団体:布ぞうり・さき織りサークル	103 人
エコ布ぞうり	毎月第 4 火曜日 13:30～15:30	古布を活かして布ぞうりを編む。 協力団体:布ぞうり・さき織りサークル	99 人
つくりなおしカフェ	毎月第 1・4 木曜日 13:30～15:30	着物や Y シャツ等の素材を活かしながら普段に着られるものへリメイクするとともに、丁寧な暮らし方を考える。 協力団体:もめんむすび	277 人

イ 懇談会 (アンケートの実施)

講座名	実施日	内容	参加人数
「何でもつくり隊」懇談会	1 月～2 月の各活動日	本来は、各団体の代表者に集ってもらい、活動状況の報告と意見交換を行っているが、令和 4 年度も、新型コロナウイルスの感染対策のため、令和 2 年度・3 年度と同様各団体の代表者にアンケートを行い、報告や意見を取りまとめた。また、令和 5 年度には懇談会を実施出来るよう日程調整等を早々に行った。	全 4 グループの代表者がアンケートに協力

ウ 作品展

講座名	実施日	内容	参加団体数
「何でもつくり隊」作品展	6 月 14 日(火)～6 月 28 日(火)	環境月間である 6 月に、何でもつくり隊の各活動で作られたリメイク作品を、情報室で展示した。 ※新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和 2 年度と 3 年度には作品展の機会を設けることが出来なかった。	全 4 グループ

エ 手作りマーケット

講座名	実施日	内容	参加団体数
「何でもつくり隊」手作りマーケット	1日21日(土)	田道ふれあい館まつりで、何でもつくり隊の各活動で作られたリメイク作品の紹介と展示販売を行い、『何でもつくり隊』のPRをした。	・もめんむすび ・布で遊ぼう ・布ぞうり・さき織りサークル



何でもつくり隊作品展の様子



手作りマーケットの様子

(2) 修理コツコツ講座

ア 包丁研ぎ編

実施日	第1回 5月28日(土) 第2回 10月29日(土) 第3回 2月25日(土) 第1回から第3回共通 ①9:30~10:20 ②10:40~11:30 ③13:10~14:00 ④14:20~15:10	主な経費及び参加費
会場	目黒区エコプラザ 活動室	諸謝金 20千円
参加者数	第1回:37人、第2回:37人、第3回:35人 計 109人	通信運搬費 5千円
講師等	クラフトマングループ 4人	参加費収入 第1回 11千円 第2回 11千円 第3回 11千円
概要	切れなくなった包丁の砥ぎ方を習って自分で砥いでみることにより、物を大切にすること、長持ちさせることの大切さを実感できる機会を提供した。	

イ 壁紙の補修編

実施日	2月15日(水) 10:00~12:00	主な経費及び参加費
会場	目黒区エコプラザ 活動室	
参加人数	12人	諸謝金 20千円 通信運搬費 1千円 参加費収入 12千円
講師等	DIYアドバイザー 吉村美紀氏	
概要	壁の穴や壁紙のはがれなどの補修方法を学ぶ講座。小さな模型を使って様々な技法を学べるだけでなく、その工具や溶剤等の教材も充実しており、家に帰ってから直ぐに実践できる。	

ウ 網戸の張替え編

実施日	2月27日(月) 第1回 10:00~12:00 第2回 13:30~15:30	主な経費及び参加費
会場	目黒区エコプラザ 活動室	
参加人数	第1回:14人 第2回:14人 計28人	通信運搬費 6千円 材料費 14千円 参加費収入 14千円
講師等	株式会社イノボックス 2人	
概要	家庭で修理することがあまりない網戸の修理技術を普及し、ものを修理して長く使うことを通じ、ごみ発生抑制の促進を図った。	



修理コツコツ講座～壁紙の補修編～の様子



修理コツコツ講座～網戸の張替え編～の様子

(3) 資源回収事業

概要	資源回収の普及啓発として、目黒区エコプラザに、廃食油、インクカートリッジ等の回収コーナーを設置し回収した。行政回収の対象にならない資源について、次のとおり、協会が独自に回収した。	主な経費
		負担金 11 千円

回収物	衣類	ペットボトル キャップ	廃食油	インクカートリッジ	使い捨てコンタクト レンズの空ケース
回収量	13,680kg	635kg	588ℓ	67.11kg	49.55kg
売却益	33,638 円	6,985 円			
再利用内容	再生事業者が古着として販売する。	再生事業者が資源化しごみ箱やスーパーのカゴ、ボールペン等になる。	再生事業者がバイオ燃料としてリサイクルする。	破砕・選別後に再生プラスチック化し、プラスチック製品等へ再利用される。	粉砕し、再生ポリプロピレン素材として、様々なリサイクル製品になる。

4 条例第3条第4号事業：不用物品の販売又は交換の場を提供すること

(1) 不用品情報提供事業

概要	家庭で不用になった品物を活かす方法として、「譲りたい方」と「欲しい方」を仲介する仕組みをシステム化し、エコプラザで情報を提供している。大型家具等の引取り、販売については、不用品情報の利用を案内した。 ※利用実績は、39 頁のとおり。	主な経費
		委託費 423 千円

(2) リサイクルショップの運営

概要	区民等から寄付品を頂き販売した収益金でエコまつりや環境講演会など、区民へ還元する環境保全活動に活用をしている。ショップの運営は、主にボランティアにより行っている。 ※利用実績は 39 頁のとおり。	主な経費
		費用弁償 3,436 千円

ア リサイクルショップボランティア研修(コロナで中止)

概要	リサイクルショップの実務に役立つ知識を学べるよう、シルバー人材センターに依頼した着物に詳しい講師による着物の種類や帯の見分け方、使うシーンの違いなどを学ぶ講座や最新の環境情報をエコプロなどへの見学を研修として行っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止とした。
----	--

イ リサイクルショップの着物セールとおもちゃくじ

実施日時	着物セール 11月8日(火)10:00~15:30 おもちゃくじ 3月25日(土)から28日(火)10:00~15:00	主な経費 —
寄付人数	着物セール 95人 おもちゃくじ 75人	
概要	コロナ禍で中止していた着物セールを2年ぶりに開催した。待ちわびていた人たちで大いに賑わい、入場制限をするくらい好評であった。 また、おもちゃくじは春休みの特別企画として行った。例年は区民まつり内で行っている。これも多くのお子様で賑わい大盛況だった。	

(3) 子ども用品の交換会

実施日時	9月29日(木)~10月1日(土) 10:00~15:00	主な経費 —
実施場所	目黒区エコプラザ情報室	
参加人数	30人	
概要	子育て世代を対象としたイベントで、身近な環境活動として不用となった子ども服を持参・交換してもらう。密を避ける方法として持ち込み上限を5点、持ち込んだ衣類にはエピソードタグをつけるという形式『xChange(エクスチェンジ)』での開催とした。子ども服を選び、エピソードタグにメッセージをつけて持ち込むという作業を通して、その物に対する思い出や物の価値を見出し、物を大切する心を育てて貰うことが狙いである。	



リサイクルショップ おもちゃくじの様子



xChange~子ども服の交換会~の様子

5 条例第3条第5号事業：環境への負荷の低減に関する活動を行う団体を育成すること

(1) 環境推進員等ステップアップ講座&エコサポーター懇談会の開催

実施日	10月1日(土) 10:00~12:30	主な経費
実施場所	田道住区センター第二・第三会議室	諸謝金
概要	環境推進員養成講座を修了し、めぐろエコサポーター制度に登録している方に対し、環境保全活動の実践に役立つ知識をさらに深めることの出来る機会とすることを目的に開催している。今年度は、映画「マイクロプラスチックストーリー」の上映を第13期環境推進員養成講座の2回目とステップアップ講座の合同で実施した。また、当日参加出来なかった方にも見て頂けるようオンラインでのアーカイブ上映を行った。(参加者8名・アーカイブ申し込み10名)	30千円

6 条例第3条第6号事業：エコプラザの施設を利用に供すること

(1) 活動室等の利用提供

事業名	活動室等の利用提供	主な経費
概要	エコプラザ登録団体が活動の場として利用するとともに、指定管理事業などの講座、講習会の会場とした。 また、広く一般の団体等に対しても活動の場として利用に供した。 ※利用実績は、39頁のとおり。	消耗品費 5千円

7 条例第3条第7号事業：区長が必要があると認める事業

(1) 環境推進員（エコサポーター）養成講座の開催

私たち一人ひとりの行動が、地球規模で起こっている環境問題に深く影響している。

自分にできる環境活動を始めるきっかけづくりのための講座を、過年度受講者による企画委員会で検討されたカリキュラムにより連続講座で実施した。

概要	地域で環境への負荷の軽減に関する活動を行う人材を育成することを目的として、養成講座等を実施した。 今期(13期)養成講座修了者7人には、当協会理事長名で修了証を授与した。修了者がめぐろエコサポーター登録し、翌年に環境保全活動を実践し、「環境推進員登録申請書」を提出すると、当協会から「環境推進員登録証」を交付する。 令和4年度末累計登録者 環境推進員 26人、エコサポーター117人	主な経費 諸謝金 85千円 費用弁償 147千円 使用料及び貸借料 42千円 消耗品費 10千円
----	--	--

ア 養成講座企画運営委員会

(人数は委員のみ)

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	4月23日(土)	講座の概要・目的・実施方法の確認、年間計画の確認、委員会の進め方について	4人
第2回	5月21日(土)	講座の方向性確認、講座内容の検討	5人
第3回	6月4日(土)	第13期のテーマ決定、講座全6回の内容決定	5人
第4回	7月2日(土)	第13期の各回のテーマ決定、講座各回の役割分担	5人
臨時回	7月24日(日)	講座(第4回)の会場となる大師河原干潟館にて、干潟館職員と打ち合わせおよび現地の下見	1人

イ 環境推進員(エコサポーター)養成講座

(人数は受講者のみ)

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	9月10日(土)	講座の目的・取り組み方・修了後等のガイダンス、講義:「目黒区の環境への取り組み」(講師:環境保全課)、受講生自己紹介など	8人
第2回	10月1日(土)	映画「マイクロプラスチックストーリー」からごみ問題を考える 講師:環境カウンセラー 杉村悦子氏	8人
第3回	10月15日(土)	講義:「家庭で取り組む食品ロス対策」 講師:NPO法人コミュニティスクールまちデザイン理事長 近藤恵津子氏	6人
第4回	10月22日(土)	活動体験:「河原でゴミ拾いと干潟のいきもの観察」 講師:川崎市大師河原干潟館職員	6人
第5回	11月5日(土)	グループ討議:「仲間と始める環境活動」	7人
第6回	11月26日(土)	グループ発表と意見交換、修了証授与、修了後の活動等の案内、修了生が立ち上げた活動団体の紹介など	6人

(2) エコサポーターの活動支援

環境推進員養成講座を受講しめぐるエコサポーター制度に登録した者に対し、講座・講習会の開催やボランティア募集等の情報提供、団体活動を行う際の相談、広報のための印刷機使用等の支援を行う。

ア めぐるエコサポーターへの情報提供

毎月1回と臨時号3回の年15回、講座やイベント等のお知らせメール(メールのない方には郵送)を行った。

イ めぐるエコサポーター専用ページの活用

エコライフめぐる推進協会ホームページ内のめぐるエコサポーター専用ページ(パスワード有)の編集及び管理を行った。

コーナー名	内容
めぐろエコサポーター通信バックナンバー	めぐろエコサポーター通信創刊号から最新号までのバックナンバーを見ることが出来る。
今月のお知らせ	毎月メールや郵便で送っているお知らせの添付資料をホームページ上でも見ることが出来るようにした。
エコサポみんなの掲示板	エコサポーター同士が情報交換を出来る場として、ホームページ上に掲示板を作成、職員からもメッセージを定期的に入力し情報提供を行った。

ウ めぐろエコサポーター通信編集部会（人数は編集部員のみ）

(ア) めぐろエコサポーター編集会議の開催

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	7月20日(水)	年間計画、役割分担、第12号の企画	3人
第2回	3月14日(火) 3月15日(水)	令和5年度の編集部会について	2人

(イ) めぐろエコサポーター通信の発行

発行号	発行日	内容
第12号	10月1日(土)	特集 本のプレゼント 環境推進員おすすめ／お気に入り／印象に残った本のご紹介

(3) 「区民まつり」への参加

実施日	内容	主な経費
実施日	田道ふれあい館が会場とならないこととなったため不参加	—
会場	田道広場公園	
概要	令和元年度までは、田道ふれあい館も区民まつりの会場となっていた為、目黒区エコプラザとリサイクルショップも臨時開館していた。※令和2年度と3年度は、新型コロナウイルスの感染対策により区民まつりは開催中止。	

(4) 「田道ふれあい館まつり」

実施日	内容	主な経費
実施日	1月21日(土)10時～15時	—
会場	田道ふれあい館	
参加人数	約300人	
概要	田道ふれあい館に入っている全施設（田道住区センター・高齢者センター・在宅ケア多機能センター・シルバー人材センター・目黒区エコプラザ）の共催。目黒区エコプラザは、「フードドライブ」と「手づくりマーケット」、「ソプラノコンサート」を実施した。	

目黒区エコプラザ利用実績表

項 目	令和2年度(2020年度)実績 目黒区エコプラザ	令和3年度(2021年度)実績 目黒区エコプラザ	令和4年度(2022年度)実績 目黒区エコプラザ
利用登録	94名	104名	94名
リサイクル	35,276点	27,794点	31,177点
ショップ	32,315点	22,903点	26,157点
	6,732,661円	5,641,201円	7,573,425円
図書	39件	42件	40件
	306件	230件	180件
不用品情報	147件	193件	294件
	42件	42件	33件
活動室	12件	7件	4件
	延155回 (午前・午後・夜間)	延169回	延263回

※ 利用登録数は、更新登録者も含む

令和4年度（2022年度）
決算

貸借対照表

(令和 5年3月31日 現在)

(単位：円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 【資産の部】			
(1) 流動資産			
現金	270,609	281,268	△ 10,659
普通預金	28,685,809	26,107,463	2,578,346
定期預金	15,627,036	15,626,771	265
未収入金	14,069	25,190	△ 11,121
仮払金	0	0	0
商品	142,065	72,170	69,895
前払金	1	0	1
流動資産合計	44,739,589	42,112,862	2,626,727
(2) 固定資産			
普通預金(特定)	0	0	0
定期預金(特定)	0	0	0
その他固定資産	1,792,560	2,688,840	△ 896,280
固定資産合計	1,792,560	2,688,840	△ 896,280
資産合計	46,532,149	44,801,702	1,730,447
II 【負債の部】			
流動負債			
未払金	3,975,776	2,828,716	1,147,060
預り金	657,686	719,540	△ 61,854
未払法人税・住民税等	1,057,400	70,000	987,400
未払消費税	583,100	531,400	51,700
流動負債合計	6,273,962	4,149,656	2,124,306
固定負債			
退職給与引当金	0	0	0
その他固定負債	1,792,560	2,688,840	△ 896,280
固定負債合計	1,792,560	2,688,840	△ 896,280
負債合計	8,066,522	6,838,496	1,228,026
III 【正味財産の部】			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	38,465,627	37,963,206	502,421
正味財産合計	38,465,627	37,963,206	502,421
負債及び正味財産合計	46,532,149	44,801,702	1,730,447

正味財産増減計算書

令和 4年4月1日～令和 5年 3月31日)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
【経常増減の部】			
[経常収益]			
1. 会費収入	440,000	446,000	△ 6,000
2. 事業収入	34,893,997	32,794,034	2,099,963
3. 補助金等収入	36,872,460	38,564,583	△ 1,692,123
4. 寄付金収入	0	500	△ 500
5. 雑収入	2,930,298	1,120	2,929,178
経常収益計 ※	75,136,755	71,806,237	3,330,518
[経常費用]			
1. プラザ受託事業費支出	31,401,086	29,554,772	1,846,314
2. 協会事業費支出	39,378,048	39,786,006	△ 407,958
経常費用計 ※	70,779,134	69,340,778	1,438,356
当期経常増減額	4,357,621	2,465,459	1,892,162
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	3,855,200	0	3,855,200
当期正味財産増減額	502,421	2,465,459	△ 1,963,038
一般正味財産期首残高	37,963,206	35,497,747	2,465,459
一般正味財産期末残高	38,465,627	37,963,206	502,421
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	38,465,627	37,963,206	502,421

令和4年度 一般会計 正味財産増減計算書（内訳）

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	440,000	446,000	△ 6,000
法人賛助会員受取会費	320,000	320,000	0
団体賛助会員受取会費	60,000	60,000	0
個人賛助会員受取会費	60,000	66,000	△ 6,000
② 事業収益	7,893,997	5,794,034	2,099,963
物品販売収入(リサイクルショップ)	7,573,425	5,641,201	1,932,224
物品販売収入(ショップ以外)	258,672	145,683	112,989
参加費収入	61,900	7,150	54,750
③ 受託料収益	27,000,000	27,000,000	0
区指定管理事業受託料収入	27,000,000	27,000,000	0
④ 受取補助金	36,872,460	38,564,583	△ 1,692,123
受取区補助金	36,872,460	38,564,583	△ 1,692,123
⑤ 受取寄付金	0	500	△ 500
受取寄付金	0	500	△ 500
⑥ 雑収益	2,930,298	1,120	2,929,178
受取利息	598	590	8
雑収益	2,929,700	530	2,929,170
経常収益計	75,136,755	71,806,237	3,330,518
(2) 経常費用			
① 事業費	60,087,392	58,236,432	1,850,960
事業人件費	50,372,227	51,501,374	△ 1,129,147
給与	33,903,132	33,996,136	△ 93,004
賞与	8,075,843	8,604,796	△ 528,953
臨時雇賃金	259,740	139,860	119,880
法定福利費	6,807,098	7,026,841	△ 219,743
福利厚生費	340,277	357,213	△ 16,936
通勤費	986,137	1,376,528	△ 390,391
旅費交通費	49,155	17,903	31,252
通信運搬費	159,663	150,566	9,097
什器備品減価償却費	896,280	896,280	0
消耗什器備品費	0	19,580	△ 19,580
消耗品費	628,163	519,830	108,333
修繕費	0	0	0
印刷製本費	574,875	231,176	343,699
使用料・賃借料	246,528	173,532	72,996
手数料	91,345	75,820	15,525
委託費	1,584,340	889,430	694,910
燃料費	8,419	14,256	△ 5,837
諸謝金	315,000	80,000	235,000
保険料	220,370	178,280	42,090
負担金	32,600	13,640	18,960
租税公課	1,126,500	1,087,100	39,400
会議費	12,123	15,754	△ 3,631
費用弁償	3,601,198	2,230,850	1,370,348
活動助成金	0	0	0
寄付金	5,940	8,030	△ 2,090
雑損失	276	30	246
事業原価	162,390	133,001	29,389
期首棚卸高	72,170	104,181	
商品仕入れ	232,285	100,990	
期末棚卸高	142,065	72,170	

令和4年度 一般会計 正味財産増減計算書（内訳）

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増減
② 管理費	10,691,742	11,104,346	△ 412,604
管理人件費	6,888,281	7,943,687	△ 1,055,406
給与	4,972,403	5,541,036	△ 568,633
賞与	764,366	1,006,060	△ 241,694
臨時雇賃金	0	19,980	△ 19,980
法定福利費	956,590	1,063,487	△ 106,897
福利厚生費	59,082	92,144	△ 33,062
通勤費	135,840	220,980	△ 85,140
旅費交通費	3,796	1,896	1,900
通信運搬費	341,492	347,679	△ 6,187
消耗品費	178,931	192,363	△ 13,432
修繕費	0	0	0
印刷製本費	0	8,114	△ 8,114
使用料及び賃借料	438,105	435,515	2,590
費用弁償	228,000	108,000	120,000
諸謝金	111,000	99,000	12,000
負担金	59,500	46,500	13,000
手数料	107,063	86,182	20,881
光熱水費	805,742	525,441	280,301
委託費	1,402,782	1,239,920	162,862
租税公課	127,050	70,049	57,001
經常費用計	70,779,134	69,340,778	1,438,356
当期經常増減額	4,357,621	2,465,459	1,892,162
2 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
法人税住民税及び事業税	3,855,200	0	3,855,200
当期一般正味財産増減額	502,421	2,465,459	△ 1,963,038
一般正味財産期首残高	37,963,206	35,497,747	2,465,459
一般正味財産期末残高	38,465,627	37,963,206	502,421
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	38,465,627	37,963,206	502,421

財 産 目 録
(令和5年3月31日 現在)

(単位:円)

科 目	内 訳	金 額
『資産の部』		
I 流動資産		
(1) 現金	事務局 目黒エコプラザ	57,084 213,525
	小 計	270,609
(2) 普通預金	みずほ銀行 目黒支店 協会口座 指定管理口座 事務局口座 会費入金口座	4,755,702 19,276,896 272,406 1,014,028
	ゆうちょ銀行 ゆうちょ銀行 リサイクルショップ用	1,024,495 2,342,282
	小 計	28,685,809
(3) 定期預金	みずほ銀行 目黒支店	15,627,036
	小 計	15,627,036
(4) 前払金	前払金別紙内訳参照	1
		1
(5) 未収入金	未収入金別紙内訳参照	14,069
	小 計	14,069
(6) 商 品	棚卸商品等	142,065
	小 計	142,065
	流動資産合計	44,739,589
I 固定資産		
(1)リース資産	MRシステム・PCリース料	1,792,560
	小 計	1,792,560
	固定資産合計	1,792,560
	資産合計	46,532,149
『負債の部』		
II 流動負債		
(1)未払金	未払金別紙内訳参照	3,975,776
(2) 預り金	預り金別紙内訳参照	657,686
(3)未払法人税等	目黒税務署・東京都税事務所 (法人税等 1,057,400 消費税 583,100)	1,640,500 6,273,962
	流動負債合計	6,273,962
III 固定負債		
(1)リース債務	MRシステム・PCリース料	1,792,560
	小 計	1,792,560
	固定負債合計	1,792,560
	負債合計	8,066,522
正味財産合計		38,465,627

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項ありません。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は最終仕入原価法による原価法を採用しております。

(3) 固定資産の減価償却方法

リース資産については、リース期間の定額法で計上しております。

(4) 引当金の計上基準

該当事項ありません。

(5) リース取引の処理方法

300万円以上のファイナンスリース取引については、リース資産に計上しております。

300万円未満のファイナンスリース取引については、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(6) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

2. 会計方針の変更

該当事項ありません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当事項ありません。

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当事項ありません。

5. 担保に供している資産

該当事項ありません。

6. リース債務当期末残高

1,792,560円

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりであります。

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
前払金	1	—	1
未収入金	14,069	—	14,069
合 計	14,070	—	14,070

8. 保証債務等の偶発債務

保証債務等は行っておりません。

9. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債権は保有しておりません。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末払残高	当期受領額	当期使用額	返還予定額	貸借対照表上の記載区分
補助金	目黒区	0	39,325,000	36,872,460	2,452,540	未払金

11. 指定正味財産から一般正味財産への振分額の内訳

該当事項ありません。

12. 関連当事者との取引の内容

該当事項ありません。

13. 重要な後発事象

該当事項ありません。

14. その他

該当事項ありません。

令和4年度 未払金明細一覧

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

取引先名	摘要	金額
目黒区	補助金返還金 (人件費) (事)2,030,950 (管)260,719	2,452,540
	補助金返還金 (事業運営費)委託費97,000+謝 礼36,302+助成金300,000+賃借料19,326+通信 運搬費15,985-光熱費307,742=160,871	
協会職員	協会職員3月分超過勤務手当	102,403
日本年金機構 目黒	社会保険料3月給与 506,383 賞与 38,363	544,746
目黒税務署	報酬源泉徴収 4件	6,227
リサイクルショップポランテア費用	リサイクルショップ3月分ポランテア費用弁償	318,000
中戸川公認会計士事務所	3月分会計税務指導料等	68,398
アスクル	消耗品購入代金 3月分 事務局 3,017	15,157
	消耗品購入代金 3月分 エコプラザ 12,140	
(株) NTT東日本	電話料金3月分 事務局 15,316	26,637
	フレッツ光利用料3月分(8006-3686) 事務局 5,720	
	フレッツ光利用料3月分(1319-1869) エコプラザ 5,601	
(株) オキセ	複合機3月分リース料 エコプラザ 14,300	28,600
	複合機3月分リース料 事務局 14,300	
(株) エヌ・ティ・ティエムイー	メール加入契約料 3月分 3,773	3,773
みずほ銀行 目黒支店	Eビジネス契約料 3月分 5,500	16,150
	為替手数料 等 3月分 5,260+5,390	
コアレックス信栄 (株)	ワンタッチコアレス(トイレP)販売商品	39,050
大塚商会(株)	ウィルスバスター・office365 3月分	33,277
(株)プルアンドプッシュ	めぐろecoエコ大作戦 修正・印刷	248,600
(有)八雲堂書店	情報室図書購入	46,038
ナカノ(株)	特殊紡績手袋68ダース	26,180
合 計		3,975,776

令和5年5月24日

エコライフめぐろ推進協会

理事長 相馬 熊郎 様

監事 森主 悟



監事 大野 容一



エコライフめぐろ推進協会監事監査について

エコライフめぐろ推進協会会則第9条及び財務規程第46条の規定に基づき、令和5年5月16日付けエメ第84号により、理事長から監事に付されたエコライフめぐろ推進協会監事監査の実施結果を、下記のとおり報告いたします。

記

1 監査の対象

- (1) 令和4年度(2022年度)エコライフめぐろ推進協会事業報告書及び決算関係書類
- (2) その他証票及び帳簿類

2 監査の実施時期及び場所

監査日時 令和5年5月24日(水) 午前10時から

場 所 目黒区総合庁舎別館6階 エコライフめぐろ推進協会事務局会議室

3 監査の方法

理事長から提出された事業報告書及び上記の決算関係書類について、エコライフめぐろ推進協会財務規程に基づき、適正かつ妥当な会計処理がなされているか否か会計帳簿と証拠書類との照合及び説明聴取を実施した。

4 貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書は、会計帳票の金額と一致し、協会の収支状況及び財産状況を正しく示していた。

エコライフめぐろ推進協会の事業運営については、適正に執行されたと認められる。

以 上